

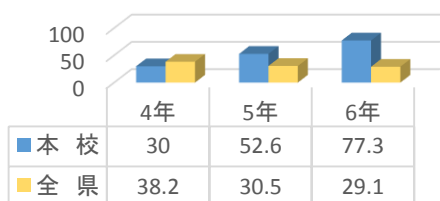


秋田県学力学習状況調査の結果報告です PART II

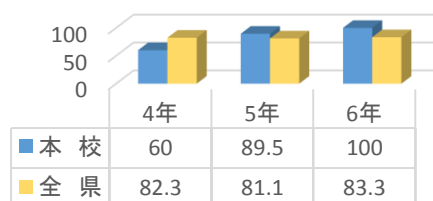
今回は、生活習慣や学習意欲についてのアンケート「質問紙」についての結果報告です。

質問についての選択肢には「1. あてはまる」「2. どちらかといえばあてはまる」「3. どちらかといえばあてはまらない」「4. あてはまらない」の四つがありますが、今回は問題点を明らかにするために「1. あてはまる」と答えた児童の割合だけを取り上げてみました。

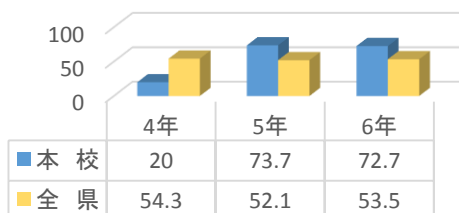
1-1勉強が好きだ



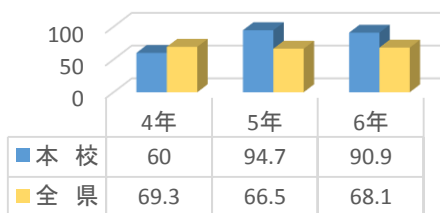
1-2勉強は大切だ



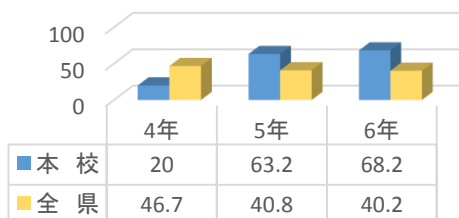
1-3 学校の勉強がよく分かる



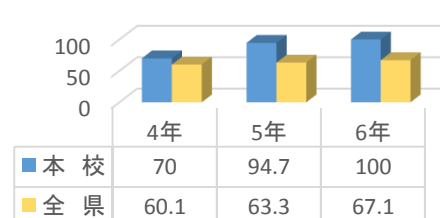
2-1 学校が楽しい



2-2 自分にはよいところがある



4-2 ふだんの授業では、話し合う活動をよく行っている。



上記の結果を見ると、「ふだんの授業では、話し合う活動をよく行っている」では各学年で全県平均を上回っており、日頃から話し合うことを重視した授業を心がけていることが表れています。しかし、その話し合いが深い学びにつながっているかということが大切です。話し合いが深い学びにつながれば、子どもたちは授業を楽しみと感じます。授業が楽しければ、学校が楽しいと感ずるでしょう。教えられるのではなく、自分たちの力で解決できれば、自分もできると思え、自分や友達のよさを感じ、自己有用感が醸成されるでしょう。そういう意味で、授業を根幹としながら、上記の質問事項は全てが関連していることを自覚し、今後も楽しい授業を目指していきたいと思います。